

「勝ちたい!」というより「みんなで楽しみたい!」という思い

令和4年度鹿本高校生徒会長

みらい創造科グローバル探究コース3年 塩田さん(鹿本中出身)



執行部Tシャツを着た塩田さん

令和5年(2023年)5月1日(月)に、4年ぶりに観客を招き、体育祭を開催しました。大成功を収めた体育祭、企画に携わった本校生徒会執行部の働きには目を見張るものがありました。今回は生徒会長の塩田さんにその思いを尋ねました。

今回の体育祭はどうでしたか?

塩田 とにかく楽しかったです。お客さんがいて、声援があつて、一日開催ができて、この楽しさを一日中みんなと共有できて。閉会式の教頭先生の講評では、生徒会執行部に「ありがとう」と言っていたので、拍手をもらいましたし、またそのあとも、同級生や先輩たちが、何人も声をかけてくれたんです。「楽しかったよ!」と。

昼休みに突然始まった応援合戦が

印象的でした。3団それぞれが応援した後、塩田さんが「一緒にやろう!」と叫んだら、3団が中心に寄ってきてみんなで応援していましたね。

塩田 体育祭で競い合つて「勝ちたい!」という思いもあつたのですが、その思いより「みんな一緒に楽しみたい!」そんな思いがあつたんです。特に3年生になつてから。

1月から準備を始めたと聞いています。これまでに、どんな思いを持って準備をしてきたんですか?

塩田 最初は顧問の中川先生から「史上最低の生徒会だ」と叱られたんです。先生から「体育祭を一日開催したい!」と話があつたのですが、これまでに経験がないことで、何もわからず、動けなかつたんです。観客が入るイベントもイメージができません。私がそうでしたし、他の執行部のみんなもそうでした。また先輩方の卒業式の準備や、新入生の歓迎会など、準備しなければならぬことがたくさんありました。

「史上最低」と叱られた生徒会、からのスタートだったんですね。



3団入り混じって応援しあう生徒たち

塩田 「分からないことは聞く。」「とよく言っていました。生徒会が初めての人もいましたし、何をやっていいかわからないことも多かつたと思います。そうやって執行部が体育祭成功という目標に向かつてまとまつていったんですね。さて、塩田さんも生徒会長としては体育祭が最後の生徒会行事でしたね。みんなに伝えたいことはありますか?

塩田 はい。私は性格上、なんでも自分でやってしまふところがあつて、自分でわからないと止まってしまうところがありました。そんな時に、中川先生に言われたんです。「お前ひとりやるんじやなくて、もっと周りに頼れ。」と。確かに、私の周りには副会長や執行部のみんな、すばらしい仲間がいたんです。実際、副会長の豊後さんと黒田さんがリーダーシップを発揮して、役割分担や先生方との相談など、執行部を代表して走り回ってくれました。本当に感謝しています。

25名もいる生徒会執行部ですが、どういうところに工夫しましたか?

塩田 「生徒会長という経験をさせてくれてありがとう!」と伝えたいです。大変でしたが、落ち込んでいても執行部の仲間やほかの人からも励ましの声掛けをしてもらいました。先輩の皆さんからも「会長!」と声をかけてもらったことがうれしかったです。執行部のみんなにもありがたうと言いたいです。先生は私たちには厳しかったんですが、私たちのやりたいことを実現するために、いろんなところをお願いして回ってくれました。本当に感謝しています。